

(別紙)

新 旧 対 照 表

(下線の部分は変更部分)

新	旧
<p>【地域再生計画本文】</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>(略) 本エリア内には、八溝県立自然公園をはじめ、ふれあいの丘、なかがわ水遊園、雲巖寺、<u>黒羽城址公園</u>、<u>道の駅「那須与一の郷」</u>など、自然とふれあい、また、(略)</p> <p>(略) そこで、道整備事業を導入することによって、<u>那須塩原駅からふれあいの丘</u>、<u>西那須野塩原ICからなかがわ水遊園</u>、(主)大田原・氏家線からふれあいの丘、ふれあいの丘からなかがわ水遊園、ふれあいの丘から黒羽城址公園、<u>黒羽城址公園～八溝県立自然公園～雲巖寺～黒羽城址公園</u>、<u>那須塩原駅からなかがわ水遊園</u>、<u>那須塩原駅から黒羽城址公園</u>、<u>那須塩原IC～道の駅「那須与一の郷」～黒羽城址公園</u>などの区間にスムーズなアクセス効果を提供し、日帰り観光客をターゲットとした各施設(ふれあいの丘、なかがわ水遊園、黒羽城址公園、<u>雲巖寺</u>、<u>道の駅「那須与一の郷」</u>)でのイベントが集中する夏季(7月～9月)の観光客入込人数(平成16年度実績)の5%増(平成22年度実績人数)を目指すとともに自然と親しむまちづくりを行うこととする。</p> <p>(目標1) <u>ふれあいの丘</u>、<u>なかがわ水遊園</u>、<u>黒羽城址公園</u>、<u>雲巖寺</u>、<u>道の駅「那須与一の郷」</u>の集客率向上</p> <p>(略)</p> <p>(目標2) 拠点施設へのアクセス改善</p> <ul style="list-style-type: none">・那須塩原駅～ふれあいの丘(市街地通過5分短縮)・西那須野塩原IC～なかがわ水遊園(親園地区通過5分短縮)・(主)大田原氏家線～ふれあいの丘(佐久山地区通過3分短縮)・ふれあいの丘～なかがわ水遊園(福原地区及び蛭田地区通過5分短縮)	<p>【地域再生計画本文】</p> <p>4 地域再生計画の目標</p> <p>(略) 本エリア内には、八溝県立自然公園をはじめ、ふれあいの丘、なかがわ水遊園、雲巖寺、<u>黒羽城址公園</u>、<u>道の駅「那須与一の郷」</u>など、自然とふれあい、また、(略)</p> <p>(略) そこで、道整備事業を導入することによって、<u>那須塩原駅からふれあいの丘</u>、<u>西那須野塩原ICからなかがわ水遊園</u>、(主)大田原・氏家線からふれあいの丘、ふれあいの丘からなかがわ水遊園、ふれあいの丘から黒羽城址公園、<u>黒羽城址公園～八溝県立自然公園～雲巖寺～黒羽城址公園</u>などの区間にスムーズなアクセス効果を提供し、日帰り観光客をターゲットとした各施設(ふれあいの丘、なかがわ水遊園、黒羽城址公園、<u>雲巖寺</u>)でのイベントが集中する夏季(7月～9月)の観光客入込人数(平成16年度実績)の5%増(平成22年度実績人数)を目指すとともに自然と親しむまちづくりを行うこととする。</p> <p>(目標1) <u>ふれあいの丘</u>、<u>なかがわ水遊園</u>、<u>黒羽城址公園</u>、<u>雲巖寺</u>の集客率向上</p> <p>(略)</p> <p>(目標2) 拠点施設へのアクセス改善</p> <ul style="list-style-type: none">・那須塩原駅～ふれあいの丘(市街地通過5分短縮)・西那須野塩原IC～なかがわ水遊園(親園地区通過5分短縮)・(主)大田原氏家線～ふれあいの丘(佐久山地区通過3分短縮)・ふれあいの丘～なかがわ水遊園(福原地区及び蛭田地区通過5分短縮)

(別紙)

新 旧 対 照 表

(下線の部分は変更部分)

新	旧
<p>・ふれあいの丘～黒羽城址公園(新宿地区通過3分短縮)</p> <p>・黒羽城址公園～八溝県立自然公園～雲巖寺～黒羽城址公園(観光周遊道路として木佐美地区通過15分短縮)</p> <p><u>・那須塩原駅～黒羽城址公園(羽田地区通過3分短縮)</u></p> <p><u>・西那須野塩原IC～道の駅「那須与一の郷」～黒羽城址公園</u> <u>(南金丸地区通過5分短縮)</u></p> <p><u>・那須塩原駅～なかがわ水遊園(奥沢地区通過3分短縮)</u></p> <p><u>・国道4号～ふれあいの丘(実取地区通過3分短縮)</u></p>	<p>・ふれあいの丘～黒羽城址公園(新宿地区通過3分短縮)</p> <p>・黒羽城址公園～八溝県立自然公園～雲巖寺～黒羽城址公園(観光周遊道路として木佐美地区通過15分短縮)</p>
<p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要</p> <p>(略)</p> <p>大田原地区の通称ライスライン「市道1-20号線」(市道認定 昭和62年1月5日)は大田原市の外環状道路として、県北地区の農産物の流通や農業振興に大きな功績を残した路線の一つである。また、<u>市道1-24.821号線(市道認定 昭和61年12月23日)</u>は国道4号と市街地を結ぶ幹線道路として位置付けられている。近年、通勤やレジャー等の交通手段に自家用車を利用する人が増え、これらの路線においてもその影響から交通量が增大している。そこで、<u>これらの路線を改築することにより、通過交通の増大に対応し、西那須野塩原IC及び国道4号からふれあいの丘及びなかがわ水遊園へのアクセス向上(時間短縮)を図る。</u></p> <p>(略)</p> <p><u>市道2-8.2-26.504号線(市道認定 昭和61年12月23日)</u>は大田原市の中西部に位置し、<u>国道や県道を結ぶ(ショートカット)路線</u>であります。本路線を整備することにより、<u>国道や県道の交通渋滞の緩和を促し、那須塩原駅から黒羽城址</u></p>	<p>5 目標を達成するために行う事業</p> <p>5 - 1 全体の概要</p> <p>(略)</p> <p>大田原地区の通称ライスライン「市道1-20号線」(市道認定 昭和62年1月5日)は大田原市の外環状道路として、県北地区の農産物の流通や農業振興に大きな功績を残した路線の一つであります。近年、通勤やレジャー等の交通手段に自家用車を利用する人が増え、<u>本線においてもその影響から交通量が增大しております。</u>そこで、<u>本線を改築することにより、通過交通の増大に対応し、西那須野塩原ICからふれあいの丘及びなかがわ水遊園へのアクセス向上(時間短縮)を図る。</u></p> <p>(略)</p>

(別紙)

新 旧 対 照 表

(下線の部分は変更部分)

新	旧
<p>公園、八溝県立自然公園へのアクセス向上(時間短縮)を図るとともに、道の駅「那須与一の郷」への集客増を図る。</p> <p>5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業 道整備交付金を活用する事業 整備箇所等は、別添の整備箇所を示す図面による。</p> <p>・実施主体 市道 大田原市 林道 栃木県</p> <p>・施設の種類 市道 林道</p> <p>・事業区域 市道 大田原市 林道 大田原市</p> <p>・事業期間 市道 (平成17年度～平成21年度) 林道 (平成17年度～平成20年度)</p> <p>・事業費 総事業費 <u>4,440,000千円(内交付金2,220,000千円)</u> 市道 <u>4,110,000千円(内交付金2,055,000千円)</u> 林道 330,000千円(内交付金 165,000千円)</p> <p>・整備量 市道 20.94km 林道 2.37km</p> <p>(略)</p>	<p>5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業 道整備交付金を活用する事業</p> <p>・実施主体 市道 大田原市 林道 栃木県</p> <p>・施設の種類 市道 林道</p> <p>・事業区域 市道 大田原市 林道 大田原市</p> <p>・事業期間 市道 (平成17年度～平成21年度) 林道 (平成17年度～平成20年度)</p> <p>・事業費 総事業費 <u>2,890,000千円(内交付金1,445,000千円)</u> 市道 <u>2,560,000千円(内交付金1,280,000千円)</u> 林道 330,000千円(内交付金 165,000千円)</p> <p>・整備量 市道 12.79km 林道 2.37km</p> <p>(略)</p>